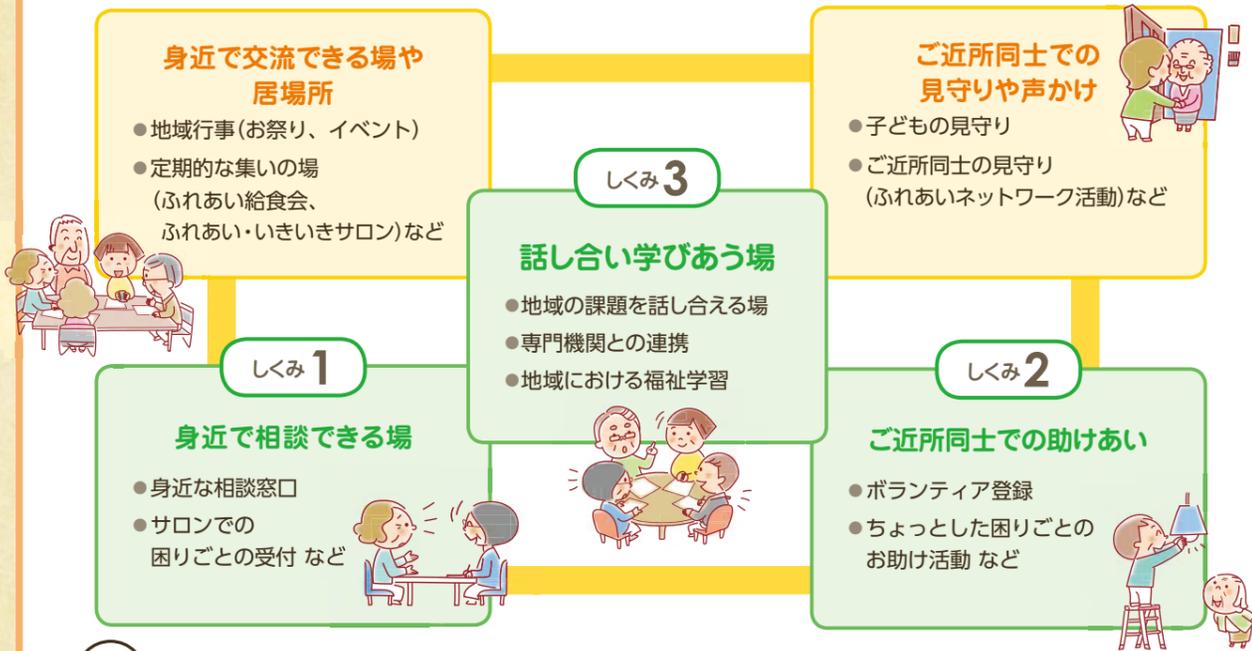


## 誰もが地域でいきいきと安心して暮らす福祉のまちづくり



**!** 地域共生社会<sup>(※)</sup>の実現には、住民の皆さんが役割を持ち、支えあいながら自分らしく活躍できる地域づくりと、専門職などと協働して助けあいながら暮らすことができるしくみづくりが不可欠であり、今後、こういった取り組みが日本全国で進められていきます。皆さまの学区においても、これまで取り組まれてきた「ふれあい・交流」や「見守り」などの活動と合わせて「地域支えあい事業」に取り組むことで、より安心して、よりいきいきと暮らすことができる地域づくりにつながります。

(※) 制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会のことを言います。

**「地域支えあい事業」をはじめませんか？  
わたしたち社会福祉協議会がお手伝いさせていただきます**

お問い合わせ  
社会福祉法人 名古屋市社会福祉協議会 地域福祉推進部  
〒462-8558 名古屋市北区清水四丁目17-1 名古屋市総合社会福祉会館5階 TEL:(052)911-3193 FAX:(052)917-0702  
「地域支えあい事業」は名古屋市社会福祉協議会及び各区社会福祉協議会が名古屋市からの委託を受けて実施しています。 発行年月 2021年1月

## あなたの地域で

# こんなこと ありませんか？

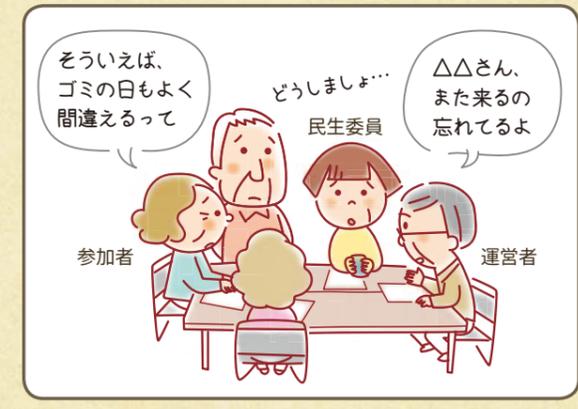


～「地域支えあい事業」のススメ～

**シーン1 日々の生活で**      **シーン2 定年退職を迎えたご家庭で**



**シーン3 ご近所で**      **シーン4 高齢者サロンの運営で**



社会福祉法人 名古屋市社会福祉協議会

解決する  
ヒントは  
こちら

# それ、**地域支えあい事業**で解決できますよ！

## 地域支えあい事業とは

地域福祉推進協議会が推進主体となり、コミュニティセンターなどの身近な場所で、住民のちょっとした困りごとの相談を受け付け(しくみ1)、ご近所の助けあい(しくみ2)によって困りごとの解決を図りながら、地域のつながりづくりを進める取り組みです。

また、住民の皆さんや専門職などが、地域の福祉課題の解決に向けて話し合ったり、学習する機会をつくったりすること(しくみ3)で、地域の福祉力の向上を図ります。

シーン 1

電球が切れちゃったけど、高い所に上るのは怖いし、どうしよう…。



困りごとのある住民

シーン 2

う～ん、1日が長い妻はなんだかイキイキとしているなあ…。



退職後の男性

シーン 3

□□さん、最近見ないけど、どうしているのかな…。気になるけど、ひとりでは無理…。



町内会長や民生委員

シーン 4

サロンの開催日を忘れてしまう参加者がいる。ちょっと心配だなあ…。



サロン運営者

### 地域支えあい事業のしくみがあれば…

しくみ 1

身近な場所で気軽に相談  
「住民相談窓口」

しくみ 2

ご近所での助けあい活動に参加  
「ご近所ボランティア」

しくみ 3

活動上の気づきや悩みを相談・解決に向けての話し合い  
「地域支えあい連絡会議」をはじめとする協議・学びの場

ご近所ボランティアコーディネーターが相談を受付。登録されたご近所ボランティアの中から電球交換の活動ができる人を探して調整。

身近で相談できる場



ご近所同士での助けあい



関係者や専門職が集まって話し合う場を設定。皆で状況を共有し、役割分担をしながらさりげなく見守るしくみができた！

話し合いの場



認知症についての勉強会を開催！同じサロンの参加者が開催日に声をかけてくれるようになった！

学び合う場



解決！

困りごとのある住民  
すぐに来てくれて助かった！



解決！

ボランティア  
人の役に立ててよかった！近所に知り合いが増えた！



解決！

民生委員  
専門職も関わってくれるので心強い！ひとりで抱え込まなくてもよくなった！

町内会長  
町内で助けあえる関係ができてよかった！



解決！

サロン運営者  
会場まで付き添ってくれる人が見つかった！

民生委員  
△△さんに関わってくれる人が増えてよかった！



よくある

Q & A

Q なぜ地域福祉推進協議会が推進主体になるの？

A 住民同士によるちょっとした困りごとの解決を通じて地域のつながりづくりを推進する目的があるからです。すでに始めている学区からは「地域を良くしていこうという機運が高まった」との声が届いています。

Q ご近所同士での助けあいは、どんなことをするの？

A ゴミ出し、簡単な修繕、庭木の枝切り、話し相手など、地域での話し合いによって活動内容を決めることができます。助けられた方も、自分ができることでご近所ボランティアとして登録し、活躍することもできます。

Q 担い手不足だし、地域役員がますます大変にならない？

A 広く住民に、得意なことやできる範囲での参加を呼びかけることで、これまで接点のなかった住民が活動に参加するようになったとの報告も多く寄せられています。また、区社会福祉協議会(区社協)と連携してボランティア講座を開催し、担い手を増やしていきます。

Q 解決できない相談があったらどうするの？

A 区社協や専門職とのつながりが強化されますので、適切な支援機関などと連携・協働して解決に取り組むことができます。「困ったときは専門職に助けてもらえるから安心」との声が届いています。